

## 閉会中委員会の状況など

三鷹市議会では2月に入り閉会中の各委員会が開催されております。各委員会の主な内容のほか、直近の活動状況をご報告いたします。

### ◆三鷹駅前再開発など

2月7日には三鷹駅前再開発計画などを議論する「三鷹駅前再開発及び市庁舎等調査検討特別委員会」(通称: 駅特)が開催されました。対象となる地域の地権者の方々との調整やコロナの影響もあり、なかなか進展が見えない状況でしたが、少しずつ具体的なイメージが示されるようになってきました。委員会に示された子どもの森基本プランでは「にぎわいの中心となる拠点」としての商業エリアや、イベントホール。「百年の森」構想をベースとした緑に覆われたオープンスペース(緑のエントランス)、交通利便性向上に向けたバス発着場などが示されました。



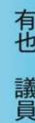
### ◆交通不便地域の解消へ

2月8日に開催された市議会まちづくり環境委員会では交通不便地域解消に向けて現在実証運行が行われているAIデマンド交通と小型EVバスの評価・検証に関する資料が報告されました。主に大沢地域を中心に運行中のAIデマンド交通は30代から80代までの幅広い年齢で利用され、とくに女性の利用が多い傾向がございます。一方で井の頭で運行中の小型EVバスは70代女性の利用が多いとの結果がございました。AIデマンド交通の導入と井口4丁目をはじめとする市内北西部の交通不便地域の解消は私が4年前に初当選いらい一貫して求めてきた課題です。更なる対象エリア拡大に向けて努力してまいります。

### 公共交通の地域格差解消に取り組む



令和山桜会  
池田 有也 議員



井の頭、大沢での実証運行を踏まえ交通不便地域の解消に取り組む

議員 リスクが顕在化している在宅子育て家庭は複合的な課題を抱える場合が多い。家庭全体に対して包括的な支援を行う庁内連携の体制について伺う。

市長 子ども政策部、健康福祉部、教育委員会の職員で構成する子育て世代包括支援センター会議を定期的に開催し、地域における切れ目のない包括的な支援のための庁内連携を推進する場となっている。

議員 高齢化社会において公共サービスへのアクセスは重要な課題だ。市内の交通不便地域の中で、井口4丁目地域について具体的な

対策が、また示されていない。今後の取り組みを伺う。

市長 コミュニティ交通の実証運行をしている井の頭、大沢地区には他の不便地域と共通の課題も多いので、その評価、検証を市域全体の対応へつなげたい。

議員 地域医療の核となる医療拠点の多くが市内東部に偏っており政策誘導的な取り組みが必要と考える。

市長 現在、構想をまとめている井口特設クラウンドにおいて医療機関の誘致や地域交通拠点の整備について検討を進めており、併せて西部地区の防災拠点機能の強化を図りたい。

### ◆今後の予定など

2月8日には総務委員会が開催され、来年度からの庁内組織体制について報告を受けました。令和5年度は公共施設の老朽化対応のスケジュールである「新都市再生ビジョン」に基づく具体的な改修工事が進んでまいります。これに伴い全体の進行管理を行うファシリタマネジメント係が新設されます。公共施設の改修は災害時避難所となる学校施設から優先すべきと主張してきました。引続きビジョンに基づく改修は学校施設を最優先で行うよう求めていきたいと思っております。9日には文教委員会にて以前より課題とされてきた市内小中学生の体力・運動能力が更に低下傾向にあることが報告されました。改めて対応の必要性を感じるとともに、他の自治体の事例なども参考にしながら今後行われる予算審査でも議論してまいりたいと思っております。



池田ゆうやホームページ



活動報告(フェイスブック)

# 自民党



三鷹市議会議員 自由民主党 池田有也

池田ゆうやを育てる会  
〒181-0011 三鷹市井口1-11-14-104  
電話/FAX 0422-69-3524  
HP <https://ikedayuya.com/>